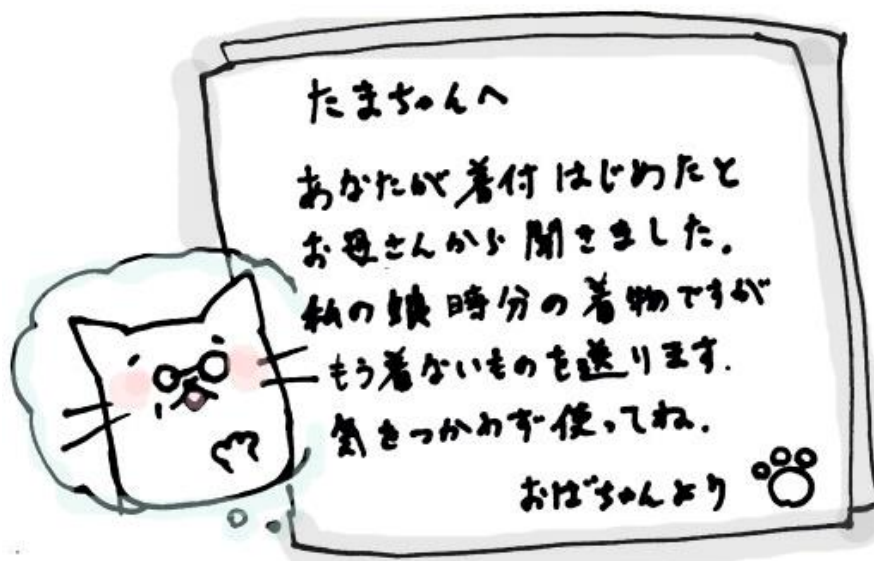


ワードローブを増やそう！着物チェックのお話

着物を始めると、着物を譲ってもらうことも？！

たま子も親戚のおばさんから、新たに着物を貰ったようです…



着物を新たに買った人も、まだタンスをチェックしていない人も
たま子と一緒にワードローブ選びを始めましょう！



ステップ①



いくつか選択肢があるときは、まず着たいものを選びましょう！
いくら着られるものでも、好きじゃないものは着なくなってしまうかも！

ステップ②

寸法チェックのポイント
衿・身丈・身幅！



サイズをザックリ
確認しましょう！

衿（ゆき）



長じゅばんのお話でも出てきた、“衿”は
着物のサイズでもっとも分かりやすく気になる寸法です。

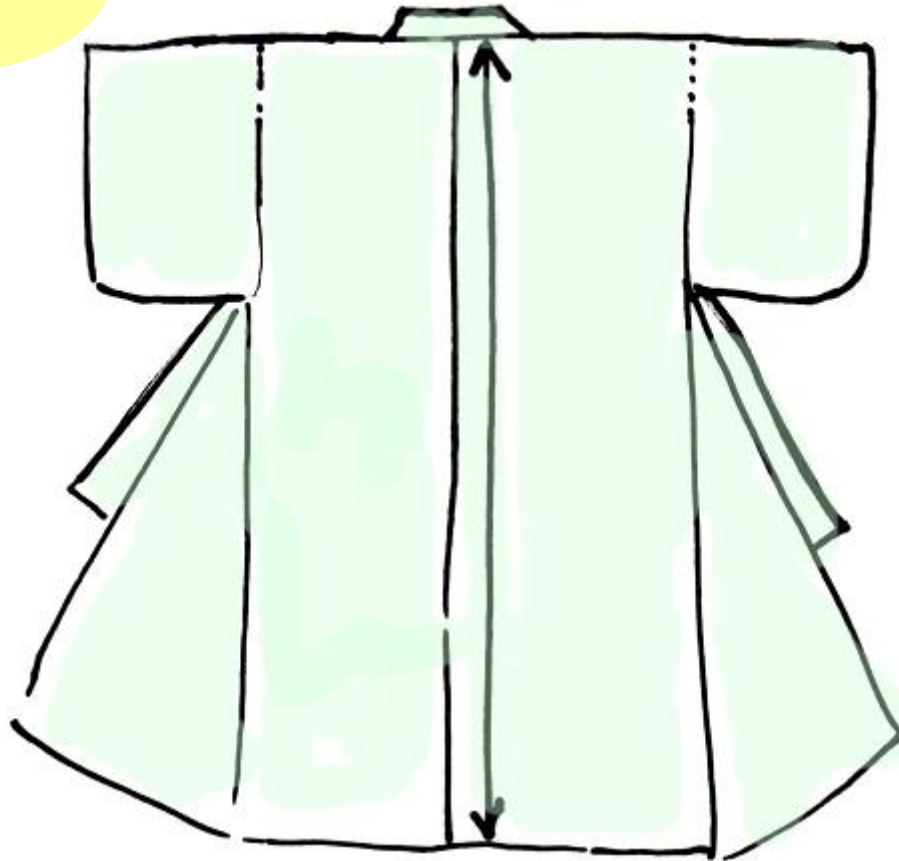
着物を羽織って衿を見てみましょう♪

背中心を合わせてから、腕を斜め45度に下ろします。

手首のグリグリにかぶっていますか…？

身丈 (みたけ)

衿の付け根から
裾先まで!!



身丈は着物の縦の長さのこと。基本は自分の身長
と同じくらいの丈が良いと言われています。

メジャーで衿の付け根から裾まで背中心の縫い目に沿って測ってみましょう♪

短いとおはしりが十分にとれず、着崩れしやすくなり

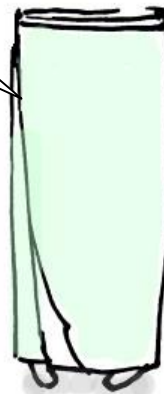
長すぎると余り分が多く、裾を決める時に上げにくかったり、多い分の処理が大変になったり…

足りていれば良いというものでもないようです…。

身幅 (みはば)



体の端まで
もってくる!



身幅は慣れていないと見落としがちな寸法ポイント! 着物を羽織り、いつも裾を決める時の要領で体に巻いてみましょう。

まず上前 (自分の左手の方) を体の端ライン (体の右手側) まで覆うように合わせます。

位置が動かないようにしたまま、もう一度開き
反対の下前 (自分の右手の方) を内脇に入れ込むように巻き入れます。

この時がポイント!

左ウエストに入れ込む
余裕がない!! X



左ウエストにグッと
入れこめる余裕がある!! ◎



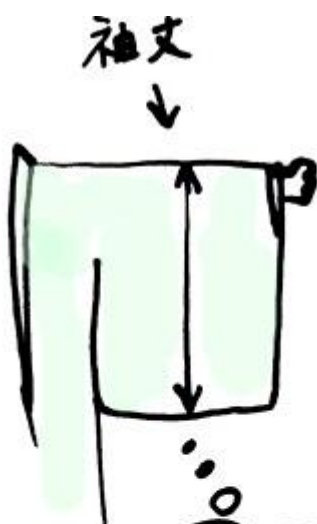
入れ込む余裕がないと歩くたびに中がチラリ!
座ったら前が開いちゃう!

気に入ってるものなら
サイズのお直しを考えましょう!

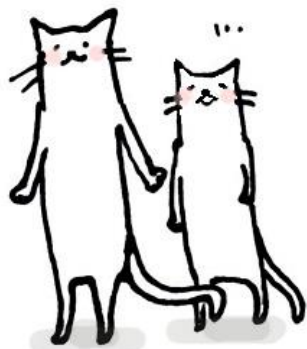
上前が体の端ラインまでできていて、下前が体の脇に
グッと入れられる余裕があるなら大丈夫! ◎

おまけに…

袖の長さもチェックしましょう☆



現在の袖丈はほとんど
1尺3寸（約49センチ）
ただ、身長が高めの方だと短く見え
バランスが悪く感じられる場合には
1尺4寸（約53センチ）くらい
にされる方もいるようです。



昔のものやお嫁入り道具として作られた着物では
袖丈の長いものがよく見られます。
振袖や、袴に合わせるような二尺袖の着物は
未婚や若いお嬢さん向けのお袖です。
お嫁入りの着物にも長いものが見られます。
昔の人は和裁が出来たので
嫁入り前に長く作った袖も、お嫁に行ったら
自分で直していたんです。



※衿や身幅、袖丈は生地には余裕があれば直すことも可能です。
先生や教室スタッフに相談してみましょう。

ステップ③



着物の汚れ、保存状態を
チェックしましょう♪



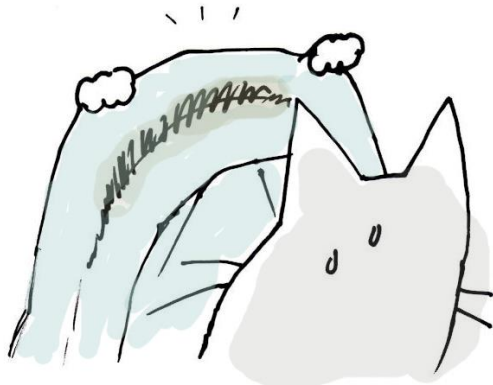
大きなシミや汚れがなくても
よくありがちなトラブルは

“ 裏地の黄変（おうへん） ”

本物の絹だからこそその黄変ですが
特に色の薄い表地の着物には大敵…。
裏地の黄変が表に透けて見えてきたり
表地にも黄変が現れてきます。

急を要するトラブルではありませんが
気持ちよく着るために
胸裏の取替えをしましょう♪

うわぁ... エリに汚れが!!



日々着物を着ていると
絶対汚れるのが衿!



皮脂や、化粧品が付着して
汚れてしまいます。

しまう時は見えていなくても
次、出した時には...!!
という事も...

汚れは悉皆（着物のメンテナンス）で
取ることができますが
ファンデーションによる汚れは
色の脱色を起こしているため
ひどいと、汚れが取れても白くなってしまいます。



たま子は無事着物を整頓して、着ることが出来たようです…♪



お気に入りを見つけたら、汚れや、傷んでいないかチェック！
着る前に悉皆で綺麗にしたり、破損やサイズはお直して直したり
困ったら先生や教室スタッフに相談！お着物を大事に着てゆきましょう♪